

田村西男 （はらむら） 小説家、劇評家。明治十二年二月十一日東京生れ、昭和二十二年一月十一日没（二八五—九五）。本名喜三郎。筆名西男山人、西男生。東京法學院卒。雑誌『文藝俱樂部』等、小説を發表し、明治四十年『可笑』を創刊。俳優田村秋子の父。

著書『又藝者』（明治四十四年十一月—二十日辰又館）、『雷神不動櫻』

（編、明治四十四年十一月—二十五日辰又館）、『趣味大江戸』（合著、研究大江戸）（合著

・江戸研究会編、大正二年十月—二十四日大屋書房）、『比翼紋』（大

正四年四月—二十一日興風社）、山根秋伴著『情潛』（合著、大正六年

七月一日國粹社『蠅蝠叢書』）、井原西鶴著『新曲鶴五人女』（新春

芭蕉の花）』（譯著、大正九年六月五日名作人情文庫刊行會『名作人

情文庫』。再刊、昭和二年四月五日鳥解綱島書店『名作人情文庫』）、

爲永春水原著『新いろは文庫』（校訂、大正九年八月十日名作人情文

庫刊行會『名作人情文庫』）、花柳小説『藝者夜話』（大正十年七月五日

東京淺草出版社、盛々堂書店發賣）、『現代戲曲大観』（合著・劇作

家協會編、大正十一年四月十七日新潮社）、『捕り籠』（大正十一年

五月五日ライオン社）、『珍談奇談集』（合著、昭和八年十一月十六日

大日本雄辯會講談社『キング文庫』）等。